

## 1 市内の温室効果ガス排出量の推移と内訳

- 市内で排出された2022年度の温室効果ガス総排出量は1,022万t-CO<sub>2</sub>と、前年度の1,025万t-CO<sub>2</sub>と比べ0.4%(3万t-CO<sub>2</sub>)減少している
- 計画の基準年である2016年度比14%(172万t-CO<sub>2</sub>)減となっており、2030年目標の達成まで2021年比47%(485万t-CO<sub>2</sub>)の削減が必要（図1）
- 家庭・業務・運輸の3部門で市内CO<sub>2</sub>排出量の約9割を占めており、前年度と比較すると家庭部門では18万t-CO<sub>2</sub>減、業務部門では4万t-CO<sub>2</sub>減、運輸部門では7万t-CO<sub>2</sub>増（図2、3）

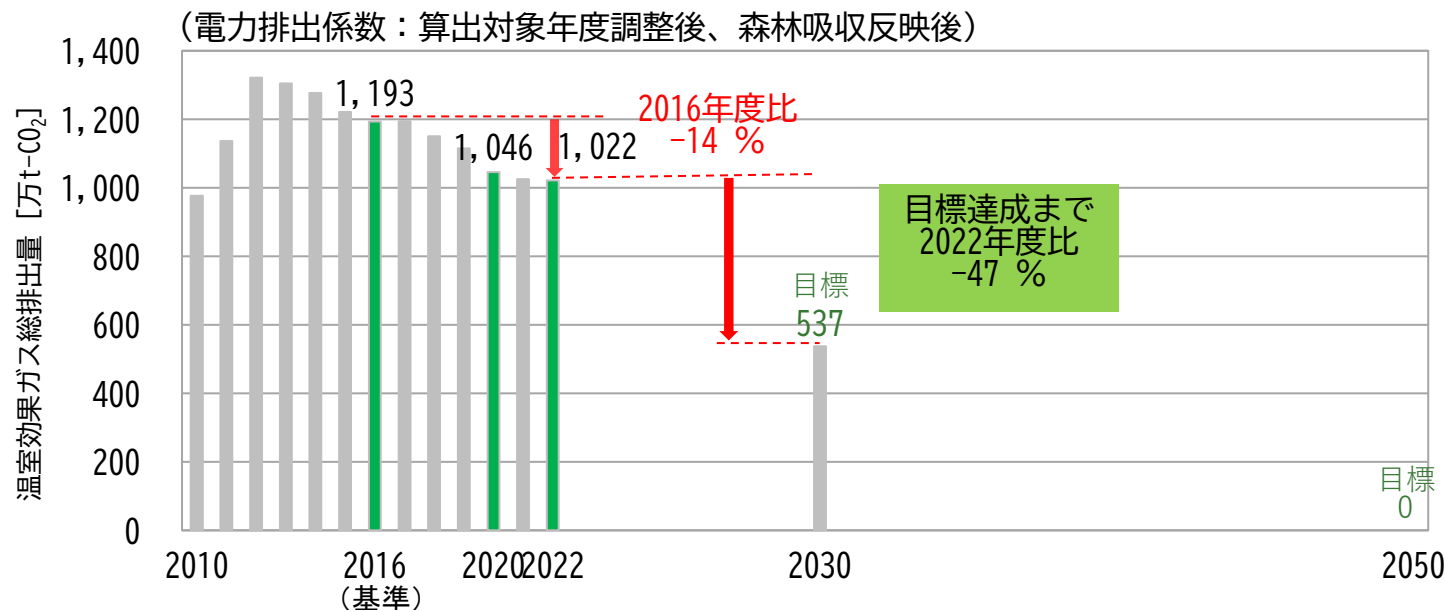


図1 市内の温室効果ガス総排出量の推移

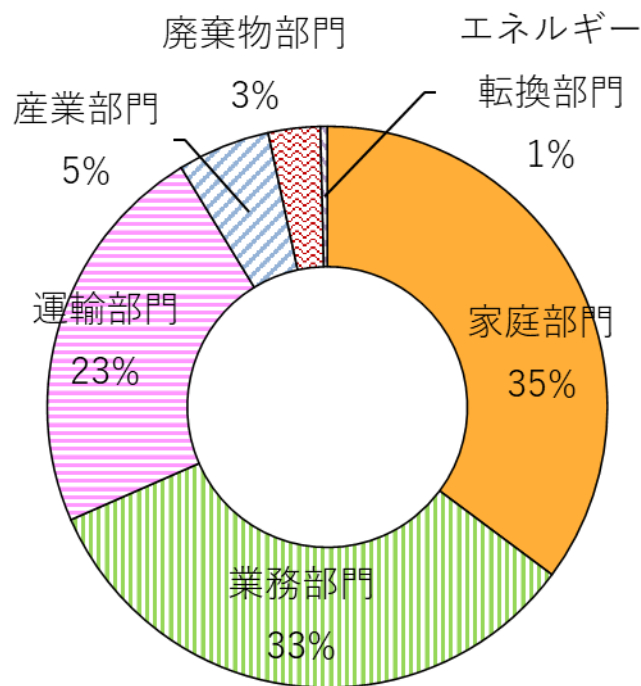


図2 市内の二酸化炭素排出量の部門別内訳（2022年）

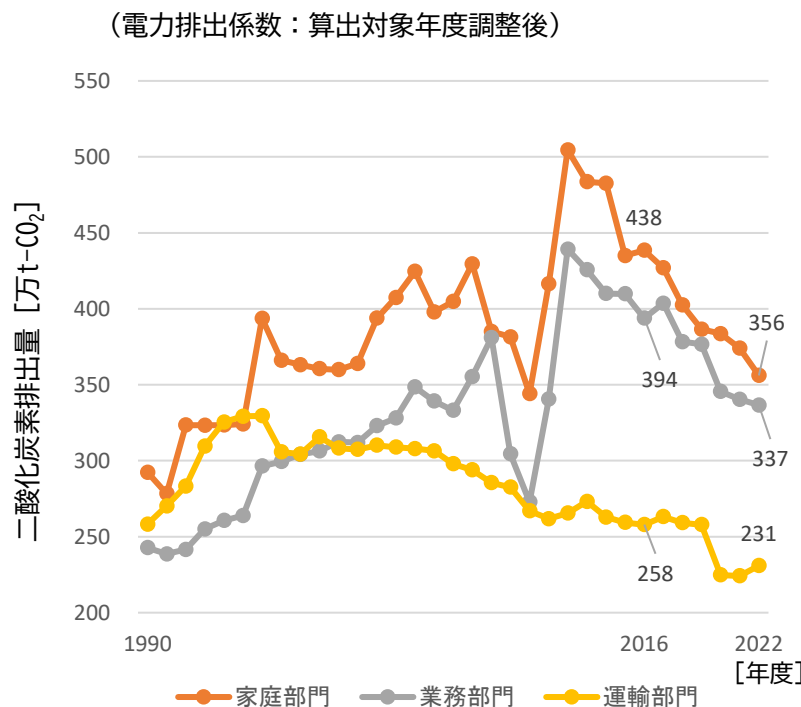


図3 市内の二酸化炭素排出量の主な部門別推移

## 2 市役所の温室効果ガス排出量の推移と内訳

- 市役所で排出された2022年度の温室効果ガス総排出量は65.4万t-CO<sub>2</sub>と、前年度の66.0万t-CO<sub>2</sub>と比べ0.9%(0.6万t-CO<sub>2</sub>)減少している
- 計画の基準年である2016年度比10%(7.2万t-CO<sub>2</sub>)減となっており、2030年目標の達成まで2022年比55%(36.2万t-CO<sub>2</sub>)の削減が必要（図4）
- 学校・市民利用施設・庁舎等で3割、上下水道・交通・道路や廃棄物処理施設等のインフラで約6割（図5）
- エネルギー種別内訳では、電力が5割を占めている（図6）

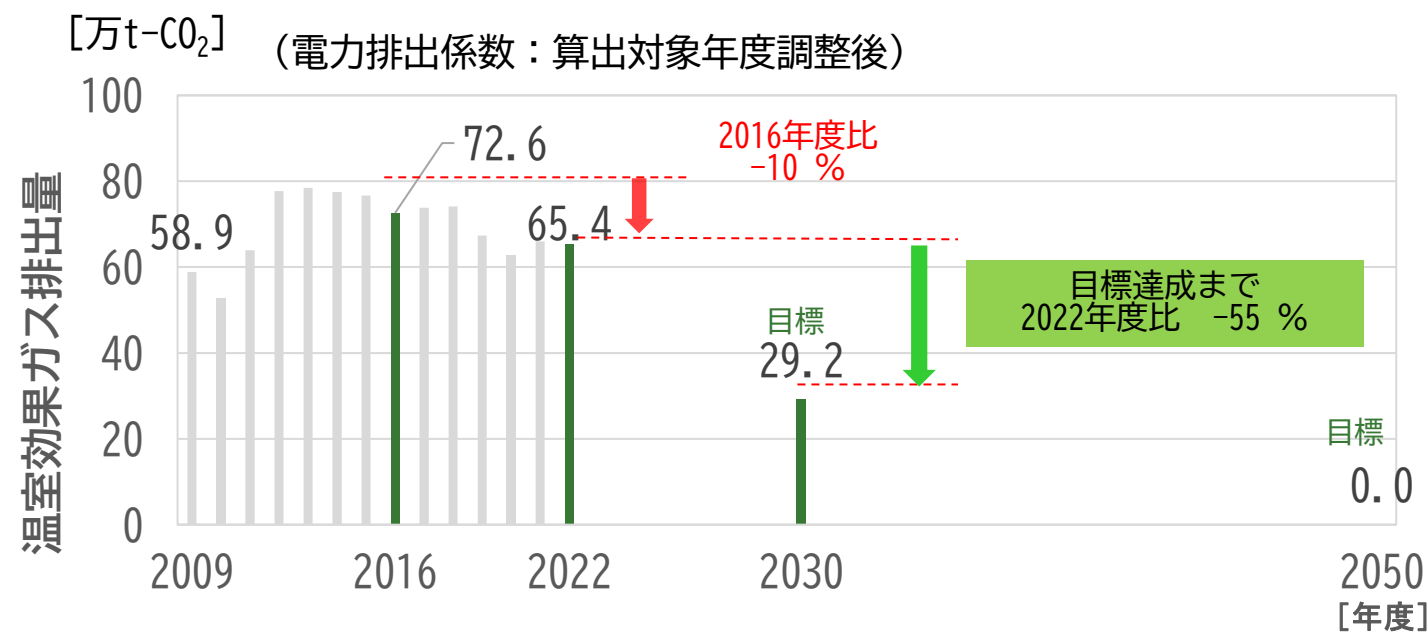


図4 市役所の温室効果ガス総排出量の推移

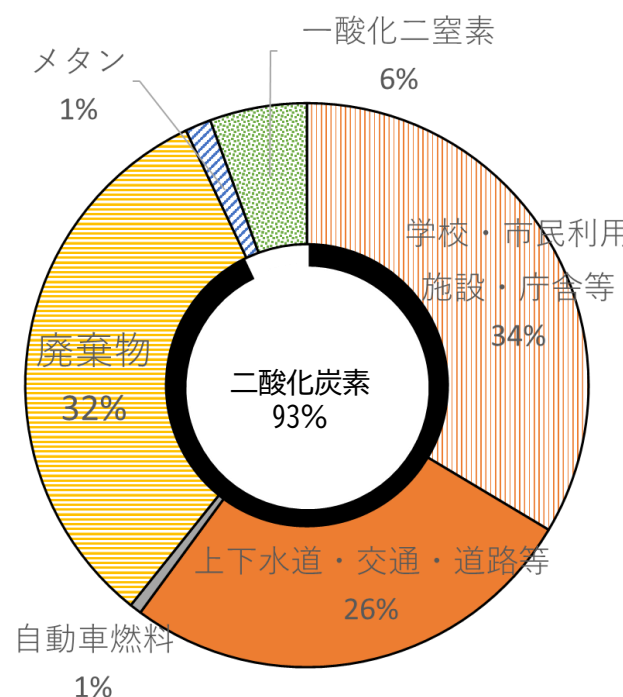


図5 市役所の温室効果ガス排出量の用途別内訳（2022年）

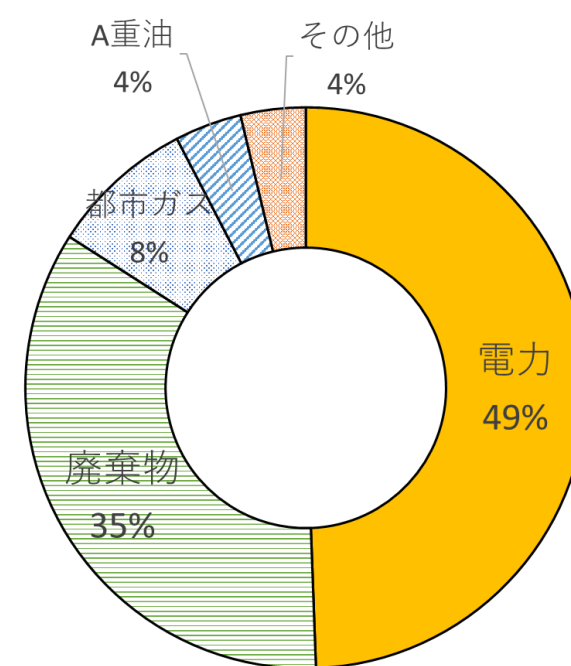


図6 市役所の二酸化炭素排出量のエネルギー種別内訳（2022年）

